

---

# 貴方が奪う、与える

LIDY

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

貴方が奪つ、与える

### 【Zマーク】

Z0508B

### 【作者名】

LIDDY

### 【あらすじ】

今、私はみつともない。恋愛に振り回されるなんて。

携帯電話をにらみつけて、見もしないテレビを聞き流している。

あたしは「こんなみつともない女だつた？」

電話、すればいいじゃない。

泣きそうになるぐらいい待つてゐるな。

でも、電話するつて言つてくれたの。

待つ女なんて流行らないのよ。

でも、今お風呂だつたり、「飯食べていたり、どうひきよへ。邪魔な子つて思われたくないんだもん。

頭であたしとあたしが喧嘩する。

止めて止めて。

何をしても、あたしは待つしか出来ないんだもの。

あたしは貴方に沢山のものを奪われてしまった。

時間。心。平穏。

貴方のたわいない冗談にドキドキしてゐるあたしは、貴方の体のいい玩具でしかない。

惚れたら負けね。

あたしはみつともないぐらいな勢いで負けを認めるわ。

貴方にならば。：十一時。

彼はきっともう電話してこないと思ひ。

よつやく携帯から目を離して、つけたままのテレビを見る。

誰かがラブソングを歌つてゐる。

聞きたくない。

今は甘い歌も、切ない歌詞も。

下らないだけ。

泣きたい気分。

読みかけの本をみても読む気が起きない。

「なんだかね」

呴いた声が思つたより大きくて。

一人しかいないことを思い知らされる。

私を駄目にしたのは貴方。

私を独りにするのは貴方が与えた時間。

独りにしないで。

貴方を考えさせないで。

戯れにならば手を出さないで欲しかつた。

貴方が私を私から奪ひ。

そして貴方は私に貴方の影を『えた。

手を離してしまえば楽になれるのに

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0508b/>

---

貴方が奪う、与える

2010年11月19日17時31分発行